

第2回 鶴岡市民歌制定委員会

日時 平成27年6月24日(水)13:30～

場所 鶴岡市役所 3階 委員会室

－ 次 第 －

1 開会

2 協議【資料 8】

(1) 市民歌の基本コンセプトについて

(参考資料)【資料 9】市民歌基本コンセプトに関する意見(第1回制定委員会)

【資料10】市民歌のイメージを具体的に表現した言葉の一覧

【資料11】具体的に表現した言葉の分類

(2) 制作手法について

(参考資料)【資料12】制作手法別のメリット・デメリット

【資料 7】本市ゆかりの作詞作曲家等一覧・近年の校歌等の制作例

3 その他

4 閉会

1 基本コンセプトについて

(1) 望まれる市民歌のイメージ (第1回制定委員会で複数あった意見) ……資料9より

- ①郷里の情景が思い浮かぶ歌、郷里が懐かしく思える歌
- ②子どもからお年寄りまでみんなに親しまれる歌
(特に、子どもの心に残る歌、子どもにも覚えやすい歌)
- ③後世まで歌い継がれる歌、長く歌われる普遍性がある歌

(2) 市民歌のイメージを具体的に表現した言葉(資料10)を分類……………資料11

- | | | |
|---|------------------|--------------|
| ①東に出羽三山、南は朝日連峰 (山々に広がるブナ) に囲まれ | 【山】 | } 自然・
恵み |
| ②裾野に庄内平野が広がり | 【平野】 | |
| ③平野に河川が流れ | 【川】 | |
| ④日本海に抱かれ | 【海】 | |
| ⑤自然 (山・平野・川・海) が四季折々にもたらす恵み | 【恵み】 | |
| ⑥庄内藩として栄えた城下町・
城下町の歴史を背景とした文化の薫り高いまち | 【城下町・歴史】
【文化】 | } 歴史・
文化 |
| ⑦産業、暮らしを支える基盤、なりわい | 【産業・暮らし】 | } 産業・
暮らし |
| ⑧温い民情、お互いを思いやり共に生きる | 【民情・共生】 | } 民情・
希望 |
| ⑨希望を持って、いのち輝き、未来を拓く | 【希望・命・未来】 | |
| ⑩その他 (鶴岡の風物詩・伝統・特産等) | | |

豊富な自然 (山・平野・川・海) があり、それらがもたらす四季折々の恵み、城下町として栄えた歴史・文化、この土地で働ける産業があり、安心して暮らし続ける姿、温かい人柄で希望をもって未来を拓いていく姿を盛り込んだもの。

(3) 上記の (1) (2) をまとめた市民歌の基本コンセプト (案)

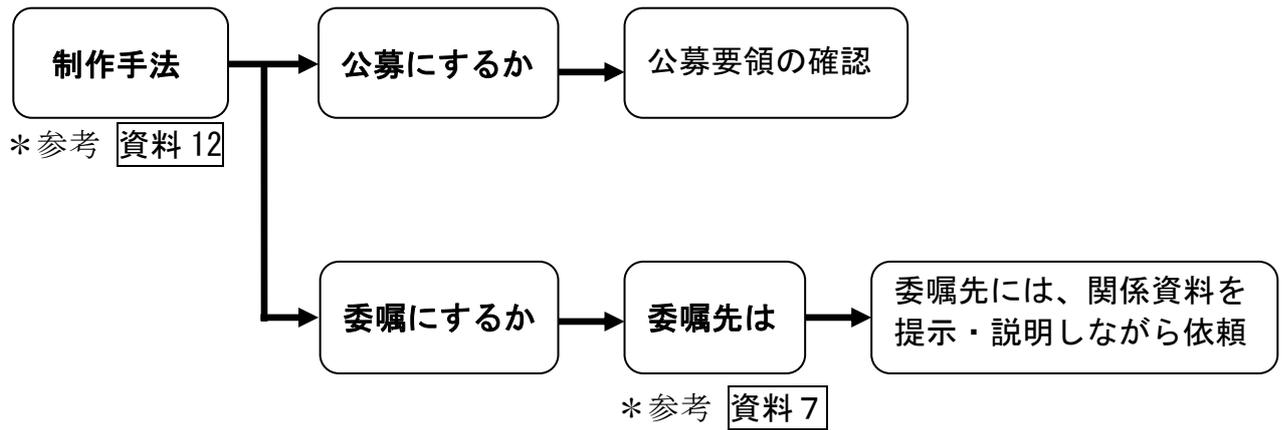
▽次に掲げる歌をイメージしたものとする。

- ・鶴岡市の情景が思い浮かぶ歌、郷里が懐かしく思える歌
- ・子どもからお年寄りまでみんなに親しまれる歌
(特に、子どもの心に残る歌、子どもにも覚えやすい歌)
- ・後世まで歌い継がれる歌、長く歌われる普遍性がある歌

▽次に掲げる内容を盛り込んだものとする。

- ・豊かな自然 (山・平野・川・海) があり、それらがもたらす四季折々の恵み
- ・城下町として栄えた歴史・文化
- ・この土地で働ける産業があり、安心して暮らし続ける姿
- ・温かい人柄で、希望をもって未来を拓いていく姿

2 制作手法について



委員 ふるさと鶴岡 城下町
出羽の山々
白鳥わたる
実りの庄内平野
日本海
藤の花 又は 藤の香り
夢ふくらむ
未来の子ども
未来へ向けて
希望の町 音楽の町 文化の町

委員 平野を見わたす山々の緑（金峰山・羽黒山・湯殿山・月山）
田畑を潤す河川の水（赤川・内川）
はるかに続く砂丘と海
豊かな自然・食文化
豊かな民情・憩いのふるさと
みどりの平野、米どころ
新たな技術、世界に誇る

- 委員 1 おらの（又は 僕の、私の、わが等）自慢のふるさと 鶴岡は
潮のかおりが 夕日をそめる
クラゲ舞う海 日本海
夏のよぞらに しゃく玉花火
わがふるさとは 城下町
- 2 おらの（又は 僕の、私の、わが等）生まれたふるさと 鶴岡は
出羽の三山 ほらのね響く
天神祭りの おばけがさわぐ
黒川能舞う 神の里
わがふるさとは 城下町
- 3 おらの（又は 僕の、私の、わが等）住んでるふるさと 鶴岡は
いずめこ人形 つるおか美人
稲穂のじゅうたん 七福神
おいでよおいで 鶴岡に
わがふるさとは 城下町

委員 出羽の山脈から湧き出る清き清流
荒々しい日本海の荒波
見わたせば佐渡を望む名峰摩耶の山

委員 月山のぶなの森
あふれ出る清らかな水
庄内平野の豊かな稔り
赤川の流れ
海につくまで
古の文化をつなぐ鶴岡の豊かで美しい街
地吹雪荒れる庄内の 冬の厳しさ通り抜け 桜の祭りに人々待つ

(大地)

委員 1 豊かな森と大地のもと
深い豊かな文化と歴史を育み
実りを分けあい 共に生きる

(海と水)

2 広い海がうるおいもたらす
優しい心としなやかさを持って
支えあい、みとめあっている
いのちの連鎖

(山)

3 け高い山々に見守られ
風雪にも耐えて 新たな
理想を求める心
いのちは生きる 未来を拓き

委員 1 出羽三山と 海に抱かれ
稲穂がなびく 庄内平野
豊かな自然の 恵みは宝
命輝く 食の都 鶴岡市

2 郷土の歴史と 文化を守り
老いも若きも 共に語る
笑顔があふれ 誇らしく
温い民情 共生の郷 鶴岡市

3 新しき 産業を興す 若人が
世界と結ぶ とびらを開く
希望に溢れ めざましく
知性輝き 未来を創る 鶴岡市

委員 ○テーマ

出羽の山脈に護られ、森と清流に生まれ、ゆったりと広がる瑞穂の鶴岡
(農を基盤に、景観の美を形成してきた鶴岡の良さ)

稲田の遥か 月山の
嶺も輝く ふるさとに
ブナのみどりの うるわしく
四季おりおりの 恵みあり

○テーマ

生き生きといのち輝かせて働き、語り合い、あしたを拓こうと励む市民
(温かな民情に支えられ、豊かに生きる市民の特性)

いのちの輝き 新しく
生きる喜び 拓きつつ
くらし高める 働きに
ちから溢れる 励みあり

○テーマ

健やかに学び、ここに生きる知恵を養い、お互いを思いやるふるさとの心
(明るく元気に、自分を磨き、他を思いやる愛郷の志)

学ぶ心の 健やかに
明日を望む 知恵みがき
世界を結ぶ 鶴岡に
泉湧き出る 誇りあり

委員

○テーマ 自然環境の豊かさ、美しさ、自然の恵みの豊かさ
自然の恵みを生かして、地域の産業の活性化をはかる

日本海に流れる 赤川の清水
大地を潤し 山海 平野の恵み豊かなり
自然の恵みを生かす食文化都市鶴岡市よ

○テーマ 伝統文化を尊び 人柄を表現し 理想に向かって
日々学び 励み 創意がわき出る 未来に拓く発展性ある鶴岡市

古き城跡文化の発祥
伝統文化を引き継いで 人情厚く 辛抱強く
理想を高く 学び 励み 創意わき出る鶴岡市よ

- 委員 1 月山とそれに連なる山々で生れた水一滴
 友と語り 友と集いて 川となり 命生み出す
 春が来て 庄内平野に花が咲く
 ウメ モモ サクラ スミレ タンポポ ユリの花
 アジサイ ショウブ バラの花
 赤 白 黄色のチューリップ
 のびのびと咲く藤の花
 おゝ 美しい鶴岡の野よ山よ
 もっけだのう もっけだのん
- 2 豊かなる大地を育てた水たちは 田や畑^{はたけ}をうるおして
 根はどっしり 葉を広げ 枝のびのびと 命育てる
 夏が来て 庄内平野は 実がたわわ
 ナス カブ キュウリ ワラビ バンケに^{もうそうだけ}孟宗筍
 緑ふっくらだだちゃ豆
 白くつやつや庄内米
 おゝ 豊かなる 鶴岡の田よ畑^{はた}よ
 もっけだのう もっけだのん
- 3 (海編) 未

委員 燦々と降り注ぐ朱色 (太陽)
 澄み渡る蒼 (海、空)
 こうべを垂れる黄金 (稲穂)
 一面に広がる緑 (田畑)
 柔らかく舞い散る白 (雪)

委員 (山々) 金峰山 月山 鳥海山 羽黒山

(海) 日本海 庄内浜

(歴史) 悠久の時を超えて 鶴ヶ岡 致道館
 酒井藩 松ヶ岡
 羽黒 (山伏、五重塔、杉並木)

(食) 庄内米 (庄内平野)
 酒蔵
 果樹園
 だだちゃ豆

①東に出羽三山、南に朝日連峰（山々に広がるブナ）に囲まれて

出羽の山々 金峰山 月山 鳥海山 羽黒山
 出羽の三山 ほらのね響く
 平野を見わたす山々の緑（金峰山・羽黒山・湯殿山・月山）
 月山のぶなの森
 け高い山々に見守られ
 出羽三山と海に抱かれ
 稲田の遙か月山の嶺も輝くふるさとに
 ブナのみどりの うるわしく
 見わたせば佐渡を望む名峰摩耶の山
 月山とそれに連なる山々で生れた水一滴

②裾野に庄内平野が広がり

実りの庄内平野
 みどりの平野、米どころ
 稲穂のじゅうたん
 庄内平野の豊かな稔り
 稲穂がなびく 庄内平野
 一面に広がる緑（田畑）
 こうべを垂れる黄金（稲穂）

③平野に河川が流れ

出羽の山脈から湧き出る清き清流
 あふれ出る清らかな水
 赤川の流れ
 海につくまで
 日本海に流れる 赤川の清水
 田畑を潤す河川の水（赤川・内川）
 友と語り 友と集いて 川となり 命生み出す

④日本海に抱かれ

日本海 庄内浜
 はるかに続く砂丘と海
 潮のかおりが 夕日をそめる
 クラゲ舞う海 日本海
 荒々しい日本海の荒波
 澄み渡る蒼（海、空）

⑤豊かな自然（山・平野・川・海）があり、
それらがもたらす四季折々の恵み

豊かな森と大地のもと
広い海がうるおいもたらす
豊かな自然の 恵みは宝
命輝く 食の都 鶴岡市
大地を潤し 山海 平野の恵み豊かなり
自然の恵みを生かす 食文化都市 鶴岡市よ
四季おりおりの 恵みあり
豊かな自然・食文化
藤の花 又は 藤の香り
燦々と降り注ぐ朱色（太陽）
柔らかに舞い散る白（雪）
春が来て 庄内平野に花が咲く ウメ モモ サクラ スミレ タンポポ
ユリの花 アジサイ ショウブ バラの花 赤 白 黄色のチューリップ
のびのびと咲く藤の花
おゝ 美しい鶴岡の野よ山よ
豊かなる大地を育てた水たちは 田や畑^{はたけ}をうるおして
根はどっしり 葉を広げ 枝のびのびと 命育てる
夏が来て 庄内平野は 実がたわわ ナス カブ キュウリ ワラビ
バンケ^{もうそうだけ}に孟宗筍 緑ふっくらだだちゃ豆 白くつやつや庄内米
おゝ 豊かなる 鶴岡の田よ畑^{はた}よ
庄内米（庄内平野）
酒蔵 果樹園 だだちゃ豆

⑥庄内藩として栄えた城下町・
城下町の歴史を背景とした文化の薫り高いまち

ふるさと鶴岡 城下町
わがふるさとは城下町
古の文化をつなぐ鶴岡の豊かで美しい街
深い豊かな文化と歴史を育み
郷土の歴史と文化を守り
古き城跡文化の発祥
伝統文化を引き継いで
文化の町
悠久の時を超えて
鶴ヶ岡 致道館
酒井藩 松ヶ岡

⑦暮らしを支える基盤、産業、なりわい

新しき ^{しごと}産業を興す 若人が 世界と結ぶ とびらを開く
希望に溢れ めざましく 知性輝き 未来を創る 鶴岡市

新たな技術 世界に誇る

いのちの輝き 新しく 生きる喜び 拓きつつ
くらし高める 働きの ちから溢れる 励みあり

学ぶ心の 健やかに 明日を望む 知恵みがき
世界を結ぶ 鶴岡に 泉湧き出る 誇りあり

理想を高く 学び 励み 創意わき出る鶴岡市よ

⑧温い民情、共に生きる

⑨希望を持ち、いのち輝き、未来を拓く

豊かな民情・憩いのふるさと

実りを分けあい 共に生きる

優しい心としなやかさを持って

支えあい、みとめあっている いのちの^{れんさ}連鎖

風雪にも耐えて 新たな^{ゆめ}理想を求める心
いのちは生きる 未来を拓き

地吹雪荒れる庄内の 冬の厳しさ通り抜け 桜の祭りに人々待つ

老いも若きも 共に語る

笑顔があふれ 誇らしく

温い民情 共生の郷 鶴岡市

人情厚く 辛抱強く

未来の子ども

未来へ向けて

夢ふくらむ

希望の町

⑩その他（鶴岡の風物詩・伝統・特産等）

おらの {自慢の、生まれた、住んでる} ふるさと鶴岡は
（※「おらの」は「わが、ぼくの、私の」等でも）
夏によぞらに しゃく玉花火
天神祭りの おぼけがさわぐ
黒川能舞う 神の里
いずめこ人形 つるおか美人 七福神
おいでよおいで鶴岡に
もっけだのう もっけだのん
白鳥わたる
音楽の町
羽黒（山伏、五重塔、杉並木）

テーマの提出が委員からあった例

- テーマ
出羽の山脈に護られ、森と清流に育まれ、ゆったりと広がる瑞穂の鶴岡
（農を基盤に、景観の美を形成してきた鶴岡の良さ）
- テーマ
生き生きといのち輝かせて働き、語り合い、あしたを拓こうと励む市民
（温かな民情に支えられ、豊かに生きる市民の特性）
- テーマ
健やかに学び、ここに生きる知恵を養い、お互いを思いやるふるさとの心
（明るく元気に、自分を磨き、他を思いやる愛郷の志）
- テーマ
自然環境の豊かさ、美しさ、自然の恵みの豊かさ
自然の恵みを生かして、地域の産業の活性化をはかる鶴岡市
- テーマ
伝統文化を尊び 人柄を表現し 理想に向かって日々学び 励み
創意がわき出る 未来に拓く発展性ある鶴岡市

制作手法	メリット	デメリット
一般公募	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを含め、市民が市民歌制定に関わることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・いいものが出てこない場合もある ・補作が必要になる ・言葉を寄せ集めると平凡・表面的になる
専門家に委嘱	<ul style="list-style-type: none"> ・選考作業や補作は不要になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡のことに精通されている方がいるか（鶴岡のことをよく伝える必要がある） ・修正を求めにくい

◇本市ゆかりの作詞作曲家等一覧

資料 7

- ましま としお
* 真島 俊夫 (66 才・出身) 吹奏楽作曲家、編曲家。日本吹奏楽学会アカデミー賞やフランス国際作曲コンクールグランプリ (2006 年) 受賞。
- きたおか
* 北岡 ひろし (48 才・出身) 演歌歌手。作詞も手掛ける。
- すがわら たくろう
* 菅原 卓郎 (31 才・出身) シンガーソングライター。ロックバンド 9mm Parabellum Bullet (キューリ・パラベラム・バレット) のボーカル、ギター担当。
- さくらい かずとし
* 桜井 和寿 (45 才・母が出身) シンガーソングライター。Mr.Children のボーカル、ギターを担当し、楽曲の作詞、作曲を手掛ける。
- にいみ とくひで
* 新実 徳英 (67 才・妻が出身) 作曲家。ジュネーヴ国際バレエ音楽作曲コンクールグランプリ等、数多くの受賞歴あり。
- あらい まん
* 新井 満 (69 才・朝日地域とゆかり) シンガーソングライター、芥川賞作家。代表作：組曲「月山」、千の風になって等。

◇近年の校歌等の制作例

- * 鶴岡第五中学校 校歌 (平成 9 年 4 月開校)
作詞：山崎 誠助 作曲：佐藤 敏直
- * 鶴岡中央高等学校 校歌 (平成 10 年 4 月開校)
作詞：こわせ・たまみ 作曲：中田 喜直
- * 朝陽第四小学校 校歌 (平成 26 年 4 月開校)
作詞：門脇 道雄 作曲：真島 俊夫
- * 豊浦小学校 校歌 (平成 27 年 4 月開校)
作詞：門脇 道雄 作曲：柿崎 泰裕
- * 東北公益文科大学 校歌 (平成 13 年 4 月開学)
作詞：佐高 信 作曲：小室 等
- * 酒田第一中学校 校歌 (平成 23 年 4 月開校)
作詞：麻衣 (久石 譲 長女) 作曲：久石 譲
- * 酒田光陵高等学校 校歌 (平成 24 年 4 月開校)
作詞：小山 薫堂 作曲：大島ミチル